



After COVID-19 Visioning

アフターコロナビジョニング トレンドリサーチレポート 2020年8月発行





目次



プロジェクト企画概要	003
------------	-----

レポート

-Big Picture	017
-Meaning of Life	023
-A Day in the Life	042
-Making New Things	065

Appendix

-Trend Card	071
-個票	108
-PROJECT CULTURE CODE	121
-ビジョニングWS	128

プロジェクト企画概要



どうすれば社会を

よりよい方向に導くことができるだろうか？



コロナウイルスの広がりが
社会変革の転換点となりつつある。

「会社に行かなければ仕事はできない」

「対面でなければ気持ちは伝わらない」

これまで慣例的に続けられてきた習慣や
当たり前だと思われてきた既成概念が
いとも簡単に崩れつつある。

一方で危機的状況を回避するスタイルを探索し、
これまでとは異なる生活や働き方が生まれつつある。

コロナショックのあと、果たしてどのような
ライフスタイル・ワークスタイルが生まれていくのか、
また新しいトレンドに対して
我々はどのように貢献していくことができるのか。

生活者のインサイトを通じて将来像を描く、
未来探索プロジェクト。

アフターコロナビジョニングとは？



After COVID-19 Visioning

アフターコロナビジョニング

コロナショックをテーマに株式会社mctが主催するデザインリサーチプロジェクトです。
大きく3つの活動を通じてアフターコロナの未来創造を支援します。

アフターコロナビジョニングとは？



デジタルデザインリサーチ

生活者の今の変化の先を捉え、変化の先に現れる新しい課題を理解するためのデザインリサーチ活動をオンライン公開します。



トレンドリサーチレポート

デザインリサーチを通じて弊社が分析したアフターコロナのインサイトレポートを発行し、企業の未来洞察に貢献します。



ビジョニングWS

社会変革の兆しを捉え、未来でどのような役割を果たすべきなのか、アフターコロナの未来を探索するWSで企業の方針策定を支援します。

- ・生活者を中心に考える
- ・生活者の今の変化の先を捉え、未来創造に貢献します
- ・変化の先に現れる新しい課題を理解し、課題解決に寄与します



本プロジェクトで明らかにすること

- ・生活者にとって大切なことは何か？
- ・生活者の価値観や優先順位はどのように変化していくのか？
- ・生活者の行動はどのように変化していくのか？
- ・生活者にとって変わらないことは何か？
- ・よりよい生活をしていくうえで何が障壁になっていくのか？
- ・よりよい生活に近づいたのか？遠ざかったのか？
- ・それは何が起因しているのか？

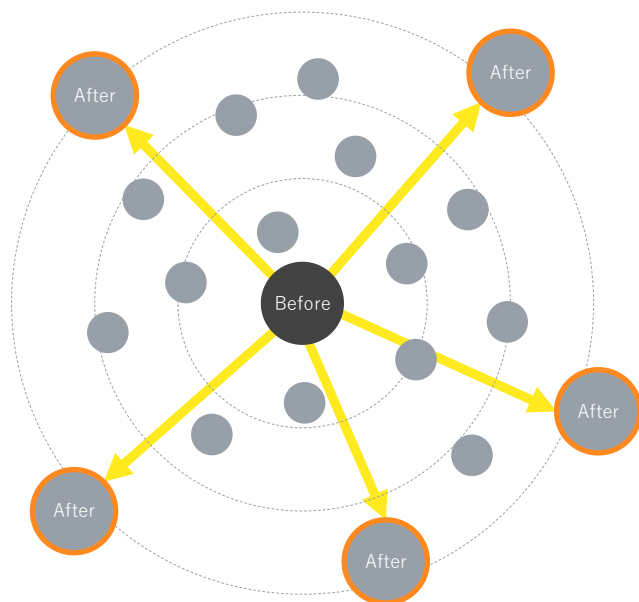


アプローチ

コロナショックで大きな変化を経験したさまざまなライフステージの生活者を深く理解し、未来洞察の兆しを獲得。兆しの先にいるエキスパート・エクストリームユーザー（国内／海外）に追加調査を行い、アフターコロナ後の未来洞察につなげます。

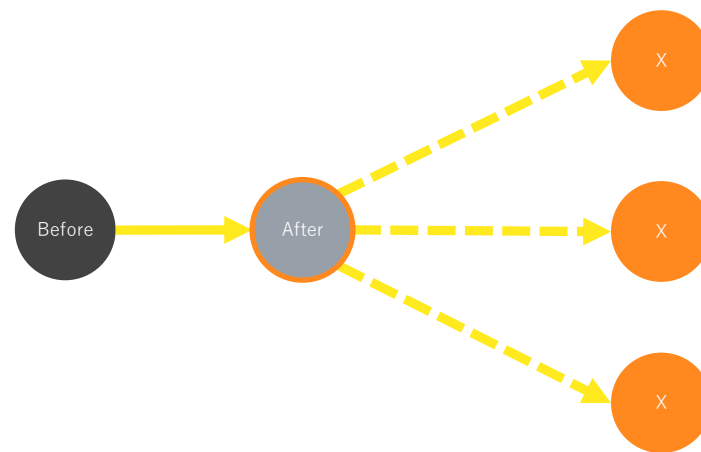
リードユーザーリサーチ

大きな変化を経験した生活者への定性調査



エキスパート・エクストリームユーザーリサーチ

未来洞察の兆しの先にいる生活者への定性調査



アプローチ1：リドユーザーリサーチ



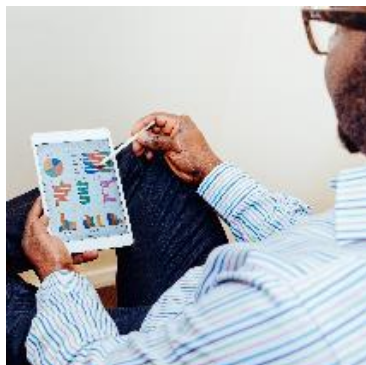
大きな変化を経験した
生活者への定性調査



コロナショックで大きな変化を経験した
さまざまなライフステージの生活者を
深く理解し、未来洞察の兆しを獲得



アプローチ1：リドユーザーリサーチ



大きな変化を経験した
生活者への定性調査



リサーチテーマ

生活者の暮らし方の変化

- ・時間の使い方
- ・お金の使い方
- ・働き方
- ・住まい方
- ・人との繋がり方

Ex: 学び、食、健康、住まい、身だしなみ、出会い、自己投資、メディアリテラシー

リクルーティング

国内インターネットパネルにてスクリーニングを実施。ライフステージや候補者特徴のバランスを見ながら、自由記述の内容をもとに有力な候補者がピックアップし、5名の最終対象者を決定。

調査手法

90分程度のオンラインインタビュー

アプローチ1：リードユーザーリサーチ 対象者



19歳女子大学生

【1人が心地良い】さん



27歳会社員女性

【学びを頑張る】さん



47歳副業中女性

【家族仲良し】さん



51歳自営業男性

【自分を見つめる】さん



39歳会社員男性

【息子と仲良し】さん

※対象者の詳細情報はAppendixを参照。

アプローチ2：エキスパート・エクストリームユーザーリサーチ



未来洞察の兆しの
先にいる生活者への
定性調査



兆しの先にいるエキスパート・エクストリー
ムユーザー（国内／海外）に追加調査を行い、
アフターコロナ後の未来洞察につなげます



アプローチ2：エキスパート・エクストリームユーザーリサーチ



リサーチテーマ

リードユーザーの先にいる生活者の暮らし方

Ex:フルリモートワーカー家族、アドレスホッパー、メディアリテラシーの高い国・社会、クリーンでなければ発作を起こしてしまう疾患患者、エボラ出血熱ファイター、ベーシックインカム経験者、VTuber

未来洞察の兆しの
先にいる生活者への
定性調査



リクルーティング

未来洞察の兆しの先について国内・海外のデスクリサーチを実施しながら候補者をピックアップし、5名の対象者を選定。



調査手法

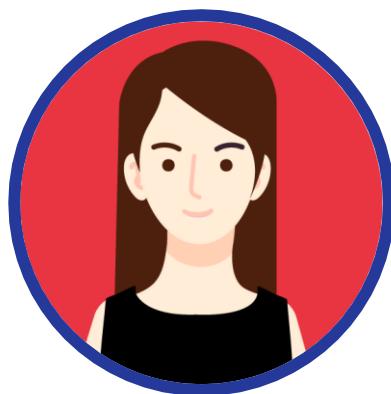
90分程度のオンラインインタビュー

アプローチ2：エキスパート・エクストリームユーザーリサーチ 対象者



53歳【日本語教育支援】

24時間ZOOMで
つながる単身赴任の
家族さん



37歳【パラレルキャリア】

パラレルワーカー
ママさん



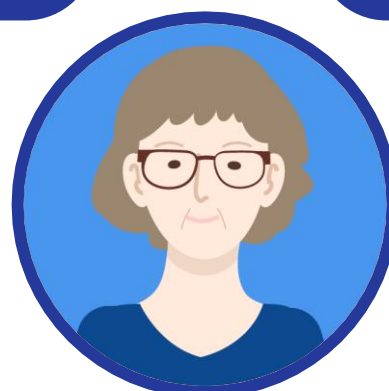
33歳【ソーシャルチャレンジ】

社会課題に取り組む
ソーシャルチャレンジ
マネージャーさん



36歳【ITエンジニア】

限界集落でフルリモートに
業務シフトさん



71歳【元大学教授】

世界の幸福度ランキング
5位ノルウェーで暮らす
お母さん

※対象者の詳細情報はAppendixを参照。

実施期間・スケジュール

リサーチスケジュール

5/15 キックオフイベント

5/27 国内リードユーザー調査スクリーナー配信

6/5 リードユーザー対象者選定

6/8～ コンタクト・アポイント

6/15 リードユーザーインタビュー

6/22 デスクリサーチによるエキスパート情報収集（国内／国外）

7/3 エキスパート対象者選定

7/6～ コンタクト・アポイント

7/13 エキスパート・エクストリームユーザーリサーチ

7/31 レポーティング開始

8/14 第一期レポート納品

レポート

Big Picture

Meaning of Life

A Day in the Life

Making New Things

全体像

Covid-19によってこれまであった社会秩序は崩れ、人々は新しい暮らし方や働き方を経験しました。それぞれが自分自身と向き合う時間を持ち、より自分らしく豊かな人生を求めようになりました。そして今、人々はこれまでの自分の暮らし方を見直し、日々の活動に優先順位をつけて、ライフスタイルを再構築し始めています。



Covid-19は生活者にとってどのような存在なのか？

Covid-19は、日本社会を雨宿りせざるを得ない状況に追い込みました。雨は人々の頭と体を冷やし、風は人々の生活の一部を奪い去っていききました。

そして今、元の生活に戻ろうとするものは足元を見ながら水たまりを避けるように急ぎ足で歩き、空を見上げて虹を見つけたものは、未来への新たな一步を踏み出そうとしています。





Meaning of Life : Covid-19を象徴するユーザーインサイト

Resource 人生を振り返る貴重な機会

- 01 「自分の人生とは何なのか？」自分と向き合う時間が生まれ、豊かな人生を送るための優先順位を考えるように。
- 02 ステイホームによって会社を中心とした活動から家族や家を中心とした活動に変化。自分の目の届く範囲の幸せを考えるように。
- 03 ゆとりのある新しい暮らし方・働き方を経験し、自分を犠牲にしてきたこれまでの暮らし方・働き方に息苦しさを感じるように。

Re:Birth 踏み台にして生まれ変わる

- 04 自由と責任の中で既成概念にとらわれない暮らし方を模索していく。
- 05 大切な人と大切な時間を生きていく暮らし方を突き詰めていく。
- 06 地域の発展が自分の価値・自己実現につながっていく。
- 07 変わらない人でも、将来の暮らし方の1つとして今後も残り続ける。

A Day in the Life：フューチャーシナリオ「未来へと大きな1歩を踏み出す者」

A Day in the Life

これまでの生き方・働き方の良い面を
継承しつつ、人生における優先順位を
軸によりよい生活の実現に向けて挑戦
していく3人の生活者を設定しました。



Making New Things

これから生活者に新しい価値を届けていく企業に向けて、弊社からのメッセージをまとめました。

災いを克服してきた歴史

未来は過去とつながっている

変革による歪み

新しい企業の役割



レポート

Big Picture

Meaning of Life

A Day in the Life

Making New Things



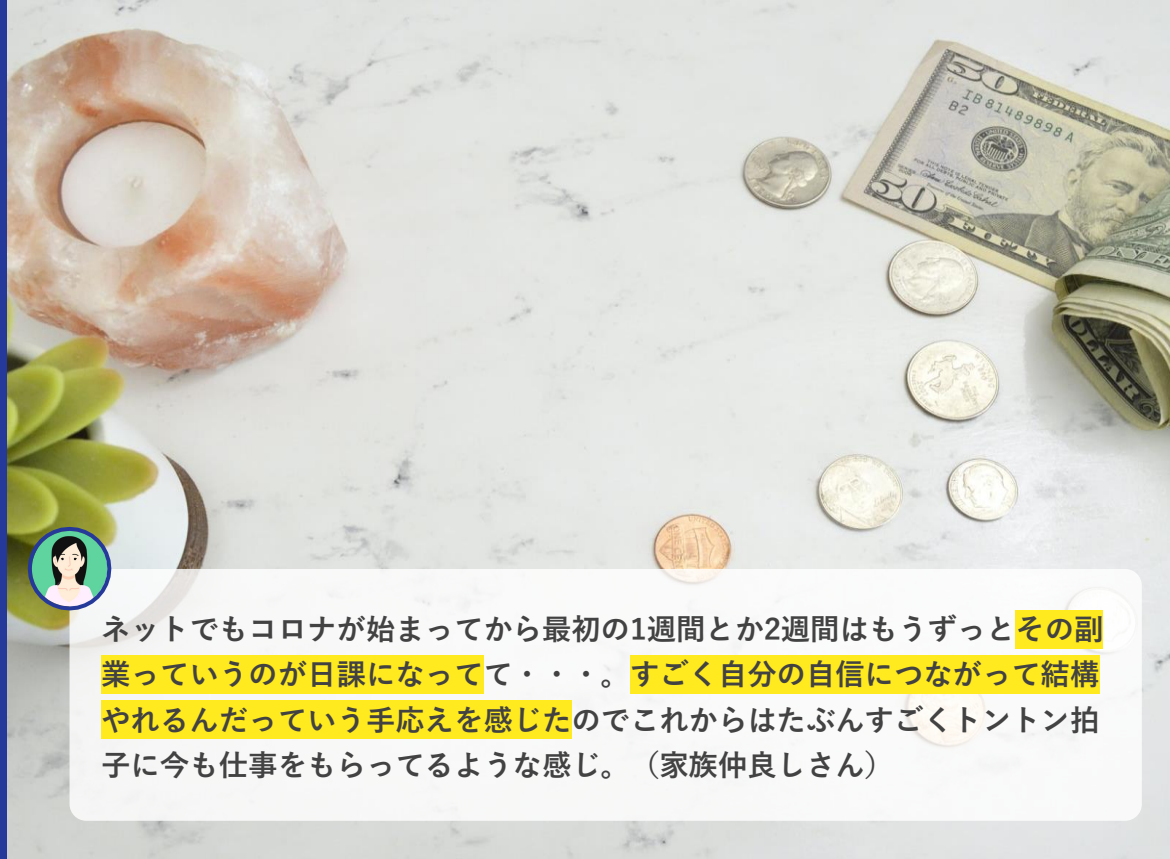
01-a

「自分の人生とは何なのか？」自分と向き合う時間が生まれ、豊かな人生を送るための優先順位を考えるように。

望ましい仕事・
大切にしたいことが変化。
日々のルーティンや
お金の使い方にも影響を与える。

SHIFT コロナによる変化

在宅時間が増える中、望ましい仕事は何なのか、または、自分が本当に大切にしたいことは何なのかといった問いに向き合うことが多くなった。モノゴトの優先順位が変わり、日々のルーティンやお金の使い方も変化し始めている（新しい自分の才能に気づく／仕事が変わる／趣味が変わる／他）。



ネットでもコロナが始まってから最初の1週間とか2週間はもうずっとその副業っていうのが日課になってて・・・。すごく自分の自信につながって結構やれるんだっていう手応えを感じたのでこれからはたぶんすごくトントン拍子に今も仕事をもらってるような感じ。（家族仲良しさん）

OPPORTUNITY 新しいニーズ

人々が新しいライフスタイルを模索している時期であるため、いろいろなライフスタイル提案に人々が耳を傾けるようになる。

01-b

「自分の人生とは何なのか？」自分と向き合う時間が生まれ、豊かな人生を送るための優先順位を考えるように。

新しい趣味や習慣を通して、
自分らしさを探し求める。

SHIFT コロナによる変化

他者との交流が減少し、自分は一体何者なのか、自分の本当にやりたいことはなんだろうかと、自分の内と向き合うことが多くなった。

新たなコトにチャレンジしたり、昔やっていた趣味を再開したりするようになった。



服飾の専門学校に行きたいと思うほど裁縫を勉強をしていました。趣味として裁縫を続けたかったのですが、最近は忙しくてできず。時間ができたので、改めて裁縫をしてみて、自分にはこういうことができるんだよなっていう再確認をして、ちょっとした自信ができました。（1人が心地良いさん）

OPPORTUNITY 新しいニーズ

新しいアイデンティティ、自分らしさの手がかりを探したり、自分の存在価値の確認をするようになる。

レポート

Big Picture

Meaning of Life

A Day in the Life

Making New Things

A Day in the Life : フューチャーシナリオの位置づけ

これまでの生き方・働き方の良い面を継承しつつ、
コロナをきっかけに変容していく人々のストーリーを作成しました。

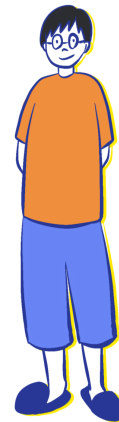
2020

2025~

リードユーザーの
インサイト

エクストリーム
ユーザーの
ライフスタイル

海外・国内の
トレンド
ソリューション



コロナをリソースとして新たな未来を切り開く
人々の未来のストーリー

A Day in the Life



自分のリズムで
営む暮らし



家族と共に作る
パッチワークな暮らし



半径10mで始める
エッセンシャルライフ



➤ SHIFT

今までの暮らし
会社から仕事と働き方を
与えられてきた



コロナをきっかけにした新しい暮らし

**仕事も働き方も
自分のリズムで形作る**



PROFILE

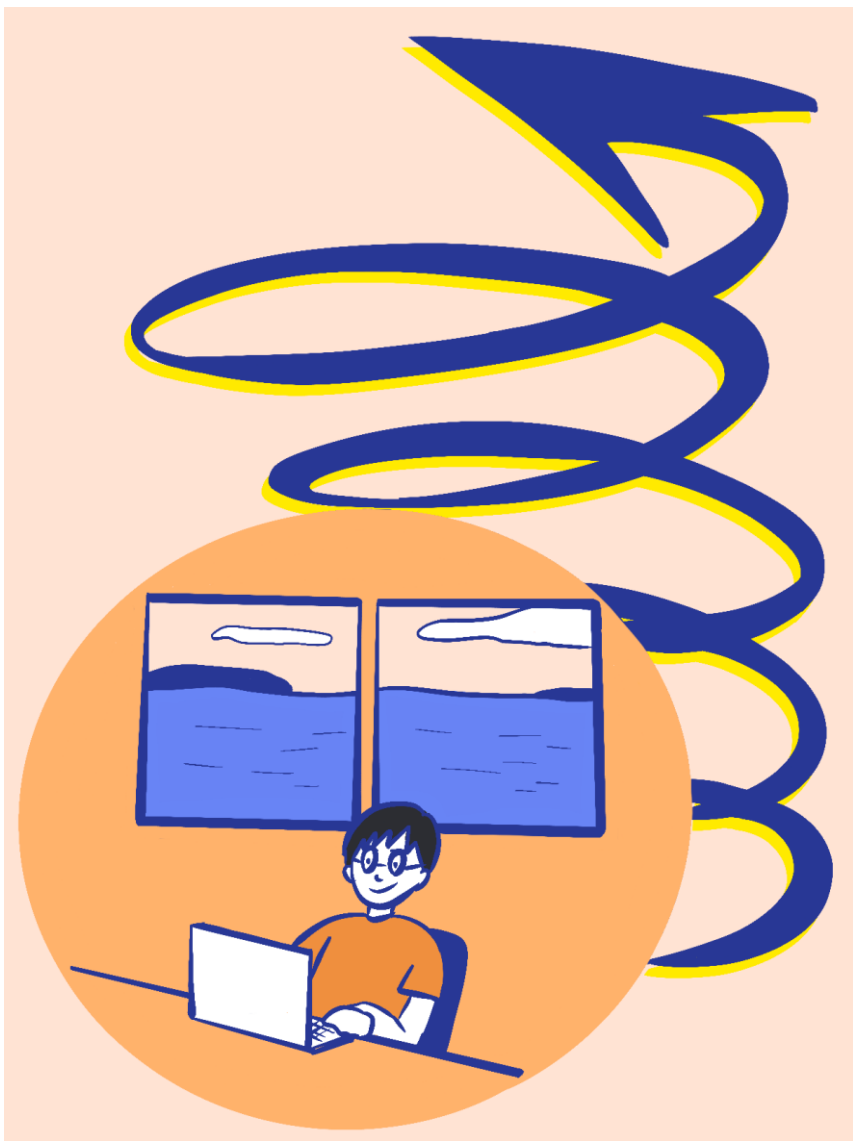
大翔（たいと）さんは32歳、都会生まれ都会育ちですが
よく帰省していた祖父母のいる三重県志摩市に
移住をしてフルリモートで夫婦で働いています



GOAL

仕事も地域とのプロジェクトもやりがいのあるものをやり遂げる
自分の責任でスキルを活かしてチャレンジできること
ゾーンに入って集中するのとリラックスするのを切り替えてメリハリのある暮らし





都会での決められた暮らしから 田舎での自分の責任で生きる暮らしへ

東京の大企業でエンジニアとして働いていた大翔さんは、コロナを機に在宅勤務を開始しました。

通勤など人が密集するリスクの多い都心での暮らしにストレスを感じ、将来してみたかった田舎暮らしに思い切ってチャレンジ。勤めている企業でも移住の支援があり、また祖父母からの伝手を頼りにできたので、思ったより低コストでの移住が出来ました。

都会での暮らしは刺激的でしたが、**仕事だけでなく地域社会に関わりながら培ってきたスキルを通してつながりの生まれる今の暮らし**に充実感を覚えています。夫婦で暮らしの目標共有を行い、家族として協同し成長していています。

未来の顧客経験

- ・ 仕事中心から家族中心へシフト
- ・ プレッシャーとリラックスの調和
- ・ キャリアを駆使して地域課題に取り組む

レポート

Big Picture

Meaning of Life

A Day in the Life

Making New Things



災いを克服してきた歴史

未来は過去とつながっている

変革による歪み

新しい企業の役割

災いを克服してきた歴史

Covid-19がもたらしたものは、決してマイナスの影響だけではない。これまで変わることのなかった古い慣習や社会秩序が壊され、新しい未来に向けての変革が進んだ。日本ではこれまでも様々な災害や困難を乗り越え、新たな暮らし方を築いてきた。Covid-19のマイナスインパクトへの対処ではなく、Covid-19を乗り越えてきた視点で見える未来をつくろう。



未来は過去とつながっている

コロナによって変化がもたらされたと言っても、全く新しいものの突然起こったわけではない。過去から引き継いできた価値観や元来持っていた考え方がCovid-19をきっかけに顕在化したという側面もある。未来を見据えるために、過去を振り返ろう。



変革による歪み

アフターコロナの急激なパラダイムシフトによって、歪みも生まれつつある。特に変化を追い風にできる人とそうでない人との格差が開いてきている。変わろうとする人への新しい選択肢を提供するのはもちろんのこと、変化に乗り遅れてしまうLaggardsへのアプローチも考えよう。



新しい企業の役割

人々や社会の変化とともに企業の役割も変わっていく。社会的な価値創造・価値実現の主導者となること、様々な人にとってのプラットフォームとなること、人々の学習や成長の場となること…などの役割が求められる。既存の企業のあり方だけを前提とするのではなく、新しい企業の役割やあり方を見出そう。



Appendix

Trend Card

個票

PROJECT CULTURE CODE

ビジョニング・ワークショップ



After COVID-19 Visioning

アフターコロナビジョニング

PROJECT CULTURE CODE

LEAN

不確実性を許容し、
実践しながら学習しよう

確からしさや正解を追求するのではなく、
未知で不確実であることを受け入れよう。
そして実践を通じて学習を繰り返していこう。



DIGITAL OPENNESS

デジタルに前向きになろう

デジタルを怖がらず、積極的に活用しよう。
消極的選択としてのデジタルではなく、
デジタルにしかできないことを目指そう。
そしてデジタルを味方につける機会にしよう。



A young child with light brown hair, wearing a dark blue sweater and blue jeans, is standing in a park. The child is reaching up to touch a large, tall pile of dry, brown and orange autumn leaves. The ground is covered in a thick layer of fallen leaves, and the background shows blurred green grass and trees, suggesting a sunny day in a park.

DEEP DIVE

人々の世界へと飛び込もう

マクロのパラダイムシフトだけでなく
一人一人の生活者の物語に入り込み、
ミクロでリアルな変化の兆しを掴もう。
自らの体験を通じて、アフターコロナの
世界を想像しよう。

A child wearing a blue t-shirt, dark shorts, and a black helmet is standing on a scooter. They are positioned on top of a large, vibrant graffiti wall. The graffiti features bold, stylized letters in blue and white against a background of orange and yellow, with purple and pink splatters. The child is looking away from the camera towards a clear blue sky. The overall scene is bright and sunny, suggesting a park or outdoor setting.

SWITCH

新しい価値観やスタイルを
手に入れるチャンスに

アフターコロナの変化に対して、不安や恐怖を持って向き合うのではなく、自らにとって新しい価値観やスタイルを手に入れるチャンスだと捉えよう。前提や視点を変えて明るい未来を描こう。

A photograph of the lower half of four children standing in a row. They are wearing various styles of raincoats and rubber boots. From left to right: a grey coat and black boots, a pink puffy coat and blue boots, a dark blue coat and green boots with yellow tops, and a grey cargo coat and red boots. The ground is muddy and wet.

PROJECT CULTURE CODE

LEAN

不確実性を許容し、実践しながら学習しよう

DIGITAL OPENNESS

デジタルに前向きになろう

DEEP DIVE

人々の世界へと飛び込もう

SWITCH

新しい価値観やスタイルを手に入れるチャンスに

Appendix

Trend Card

個票

PROJECT CULTURE CODE

ビジョニング・ワークショップ

ビジョニング・ワークショップのご案内

各種リサーチデータを用いて、社内関与者を交えてのリサーチ結果の共有と今後の機会探索を兼ねたビジョニングワークショップ（オンライン開催）を開催。

ワークショップのゴール

- アフターコロナ時代のインサイトを共有する
- アフターコロナ時代の自社にとっての課題や機会を探索する
- 上記の課題や機会に対するロードマップを議論する

ワークショップの概要

1. リサーチレポートのインストール：40min.
2. 課題や機会の整理・優先順位付け：40min
3. 優先順位の高い課題や機会に対するロードマップ検討：40min.



**社名**

株式会社 mct

ミッション

人間中心デザインで組織の成長・変革と働きがいの向上を支援する

サービス開始

2002年

拠点

OSAKAオフィス 大阪市中央区難波5-1-60 17F

TOKYOオフィス 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-9-9

コンタクト

<https://www.mctinc.jp/>



After COVID-19 Visioning

アフターコロナビジョニング

Making New Things アフターコロナビジョニング トレンドリサーチレポート
2020年8月発行

本資料の著作権は当社に帰属します。

複写、複製、引用、転載、翻訳、貸与等は原則として社内向けのみ可能です。

本レポート内容を転載・ご利用いただく場合は「株式会社mct アフターコロナビジョニング」の表記をお願いします。

本資料・プロジェクトに関するお問い合わせ http://media.mctinc.jp/after-covio19_visioning